

連勝の勢いそのままに! ここ柏で、ACL Elite 初勝利へ

KASHIWA REYSOL WINNING GUIDE Vitoria



VOL.
524

みんなて楽しいスタジアムをつくろう。
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです。



No Bribes
or Cans
ビン、カン等の
持ち込み禁止



No Fireworks, Smoke,
Candles or Horns
花火、爆竹、焚火、
ガスボンベの持ち込み禁止



No Throwing
フィールドへの
投げ込み禁止



No Jumping Down
to the Field
フィールドへの
飛び降り禁止



No Violence
暴力行為の禁止

AFC CHAMPIONS LEAGUE
ELITE 2026/27
LEAGUE STAGE MD2
2026.10.14 WED



ポートFC (タイ)



チカラを
ひとつに。
- TEAM AS ONE -

9月16日に行われたACL Elite初戦の全北現代モータース戦は1-2の黒星スタートとなった。アジアの舞台で今シーズン初勝利を目指すレイソルは、リーグステージ第2戦でタイのポートFCをホームに迎える。直近のリーグ戦ではヴィッセル神戸との首位攻防戦を制した。その勢いをACL Eliteにもつなげたい。

ポートは昨シーズンのタイリーグで準優勝を果たし、リーグカップを制した実力を持つ。前節のACL Elite初戦ではヴィッセルに1-2で敗れたものの、一度は

同点に追いつき、後半に主力選手を投入したヴィッセルを最後まで苦しめた。前線のイッサム・アルサブヒは最終ラインの背後への抜け出しに鋭さを見せ、前半アディショナルタイムにはオウンゴールを誘発している。レイソルとしても、その動きには十分な警戒が必要だ。

ポートは4-4-2を基本とする布陣が予想されており、久保藤次郎は「立ち位置で優位性ができる相手」と分析する。パスワークと選手間の連係で相手のプレスを剥がすというレイソルの強みを発

揮できれば勝機は見出せるだろう。その一方で、ポートは9月下旬に、ブリーラム・ユナイテッドをタイリーグ連覇に導いた実績を持つバンドヴィッチ監督が就任。ヴィッセル戦から指揮官が替わっているだけに、戦い方の変化にも対応する必要がある。

Jリーグとアジアの舞台を並行して戦う過密日程が続く。それでも目指すのは勝利だけだ。ホームの優位性を存分に活かし、リーグステージ突破に向けて、ACL Elite初勝利をつかむ。

クラブ応援プランで、
レイソルの強化に協力しよう!



加入はこちらから▲



ACL Elite 2026/27全試合を、
DAZNが配信。

DAZN.COM

ハナメグミの
お絵かき
日立台!
~2026/27~

わー強いよレイ
ソル〜!ニヤニヤ!
の絶好調っぷり
を今夜のACLに
も遠慮なく持ち込
んで!アジアの戦
いを勝って突き進
んでいきましょー!



柏レイソル VS ポートFCKASHIWA
Reysol

[監督]リカルド ロドリゲス Ricardo RODRIGUEZ

1	GK	猿田 遥己	Haruki SARUTA
2	DF	三丸 拓	Hiromu MITSUMARU
3	DF	麻田 将吾	Shogo ASADA
4	DF	古賀 太陽	Taiyo KOGA
5	MF	遠藤 溪太	Keita ENDO
6	MF	山田 雄士	Yuto YAMADA
8	MF	小泉 佳穂	Yoshio KOIZUMI
9	FW	細谷 真大	Mao HOSOYA
11	MF	渡井 理己	Masaki WATAI
13	DF	大飼 智也	Tomoya INUKAI
14	MF	大久保 智明	Tomoaki OKUBO
15	FW	藤尾 翔太	Shota FUJIO
16	MF	木本 康也	Koya YURUKI
17	MF	手塚 康平	Kohei TEZUKA
18	FW	垣田 裕暉	Yuki KAKITA
19	MF	仲間 隼斗	Hayato NAKAMA
20	MF	瀬川 祐輔	Yusuke SEGAWA
21	MF	小西 雄大	Yudai KONISHI
23	MF	長南 開史	Kaiji CHONAN
24	MF	久保 藤次郎	Tojiro KUBO
25	GK	小島 亨介	Ryosuke KOJIMA
26	DF	杉岡 大暉	Daiki SUGIOKA
27	MF	熊坂 光希	Koki KUMASAKA
28	MF	戸嶋 祥郎	Sachiro TOSHIMA
29	GK	永井 堅梧	Kengo NAGAI
30	MF	古谷 柊介	Shusuke FURUYA
32	DF	山之内 佑成	Yusei YAMANOUCI
33	MF	岩永 創太	Sota IWANAGA
39	MF	中川 敦瑛	Nobuteru NAKAGAWA
40	MF	原川 力	Riki HARAKAWA
42	DF	原田 亘	Wataru HARADA
43	MF	加茂 結斗	Yuito KAMO
44	MF	弓場 堅真	Kenshin YUBA
45	DF	佐藤 桜久	Raku SATO
46	GK	松本 健太	Kenta MATSUMOTO
51	FW	満田 誠	Makoto MITSUTA
56	DF	常藤 奏	Kanade TSUNETO
60	DF	丸山 寿貴斗	Jukito Maruyama
61	FW	巻渕 彪悟	Hyogo MAKIBUCHI
62	DF	宮野 健貴	Tatsuki MIYANO
63	GK	金子 遙真	Haruma KANEKO
64	MF	五十嵐 陵	Ryo IGARASHI
65	MF	茂木 勇人	Yuto CHUKWUSOMU MOGI
77	GK	若原 智哉	Tomoya WAKAHARA
87	MF	山内 日向汰	Hinata YAMAUCHI
88	DF	馬場 晴也	Seiya BABA

※出場停止:なし

2026.10.14 WED

柏サッカースタジアム

19:00 KICK OFF

予想スターティングメンバー



STAFF

ヘッドコーチ/栗澤 僚一 Ryoichi KURISAWA
 コーチ/大谷 秀和 Hidekazu OTANI
 染谷 悠太 Yuta SOMEYA
 GKコーチ/井上 敬太 Keita INOUE
 フィジカルコーチ/松原 直哉 Naoya MATSUBARA
 フィットネスコーチ/長谷 篤 Atsushi NAGATANI

ポートFC



[監督]ボジダル・バンドヴィッチ BOZIDAR BANDOVIC

1	GK	ソンボーン・ヨット	SOMPORN YOS
4	DF	スパン・ブリーラット	SUPHANAN BUREERAT
5	MF	ピーアドン・チャムラサミー	PEERADOL CHAMRASAMEE
7	FW	イッサム・アルサブヒ	ISSAM ALSABHI
9	FW	ルアン・リベyro・ロドリゲス	RUAN RIBEIRO RODRIGUES
10	FW	ボディン・バラ	BORDIN PHALA
11	FW	ブルーノ・モレイラ・ソアレス	BRUNO MOREIRA SOARES
12	MF	カカ・メンデス	KAKA MENDES
13	DF	マテウス・ギリエルメ	MATHEUS GUILHERME
14	FW	ティーラサック・ポエイヒマイ	TEERASAK POEIPHIMAI
15	DF	マヌエル・ビア	MANUEL BIHR
17	MF	セクサン・ラトリ	SEKSAN RATREE
18	FW	ジュード・スーンサップベル	JUDE SOONSUP-BELL
19	FW	ルイ・コスタ	RUI COSTA
20	DF	マルセウ・フィリペ・スカレセ	MARCEL PHILIP SCALESE
22	MF	ウラチット・カニツリバン	WORACHIT KANITSRIBUMPHEN
24	MF	ジャクパン・ケウプロム	JAKKAPHAN KAEWPROM
25	DF	チャイヤボン・オットン	CHAIYAPHON OTTON
27	MF	ルーカス・トカンティス	LUCAS TOCANTINS
28	DF	エリック・スビアチェンコ	ERIK SVIATCHENKO
33	DF	志村 騰	SHIMURA NOBORU
36	DF	ピーラワット・アックラタム	PEERAWAT AKKRATAM
40	GK	ランシマン・ケムアーン	RANGSIMAN KEMMUEANG
47	MF	シッタ・ブンラー	SITTHA BOONLHA
93	GK	ミカエル・ファルケスゴール	MICHAEL FALKESGAARD

※出場停止:なし

AFC
CHAMPIONS
LEAGUE
ELITE™

Stop! THE KEY PLAYER

ポートFC
7 FW イッサム・アルサブヒ

2021年カタールワールドカップ・アジア最終予選で、日本代表を相手に決勝点を奪ったオマーン代表のストライカー。母国オマーンをはじめ、サウジアラビア、イラクのクラブで経験を積み、今年加入したポートFCでは2トップの一角を務める。第1戦のヴィッセル神戸戦では、背後への抜け出しでチャンスを作り、セットプレーの流れから放ったヘディングシュートで、同点につながるオウンゴールを呼び込んだ。



ポートFC (タイ)

柏レイソルがACL Eliteリーグステージ第2節で対戦するのは、タイの強豪ポートFC。バンコクを本拠地とし、1967年創設の歴史あるクラブだ。近年は積極的な強化を続け、2025/26シーズンはタイ・リーグ1で準優勝し、リーグカップも制した。ACLには、2020、2021、2022、2023/24に続き、今回で5回目の出場となる。

NEW ITEM!

マッチデーアクリルキーチェーン
(2012-13モデル)

表面



裏面

日付チャームを台座にすると
アクリルスタンドに!

※ユニフォーム型チャーム(両面デザイン)・日付チャーム・キーチェーン各1点ずつがセットになっています

ACLEリーグステージのマッチデーグッズとして、過去4大会のモデルと

今大会モデルのユニフォームがアクスタキーホルダーに!

リーグステージ各試合で、1種類ずつ販売します。ぜひ全4種類のコンプリートに!

10/14ポートFC戦では『2012-2013モデル』を販売いたします。

◎価格:1,100円(税込)

■スタジアム場内グッズ売店の営業時間:

□柏熱地帯グッズ売店:開場(17:00)~試合終了後30分程度

□再入場ゲート横グッズ売店:開場(17:00)~試合終了後30分程度

※オンラインショップ・サッカーショップKAMO柏店にて商品を取り扱う際は
クラブ公式HP・SNSにてお知らせします。



——弓場選手にとって、前回の全北現代戦は初の国際試合になりました。どのような印象でしたか？

「学生時代も海外遠征をしたことがなく、選抜に選ばれた経験もなかったので、緊張感もありましたが、すごく良い経験をさせてもらいました。ただ、全北現代についてはイメージどおりのチームでした。球際が強く、勢いよくやってくる。韓国の強いチームという感じでした」

——その強いチームから得点を奪いました。「あの場面ではコジくん（小島亨介）が大きく蹴り、カキくん（垣田裕暉）が競りにいくのが分かったので、セカンドボールを狙っていました。自分のほうにこぼれてきて、相手より先に触ったら、2タッチ目ぐらいでゴールのイメージができたので、イメージどおりのプレーでゴールまでいけたのかなと思っています」

もったいなかったです。「Jリーグでも、相手はそれを狙っていますし、全北現代戦では顕著に出ています。こういうサッカーをしていますからこそ、相手はカウンターを仕掛けてきます。悪いボールの失い方をしないことや、カウンターを受けたときに食い止める力をしっかりつけないと、ああいった大きなカウンターを食らってしまうということを変えて感じました」

——初めてのACLE Eliteで、ピッチ外の部分で新たな気づきはありましたか？

「アウェイの京都から韓国への移動だったのでハードでした。その中でも、飛行機での移動時には体の血流が悪くならないようにチーム全体で工夫するなど、いろいろな対策をしています。個人としてもこういう移動は経験したことがなかったのですが、韓国遠征でもこれだけきついのかという感じです。それでも、ハードなスケジュールをこなすこともサッカー選手ならではの感覚だと思いますし、と

にかく経験したことのないことだらけなので、数年前には考えられなかったことです」

——ACLE Elite 第2戦の相手はポートFCです。

「アジリティに優れた印象があります。戦い方はチームで準備していますが、情報だけでは足りない部分はたくさんあるので、スカウティングの情報とピッチで実際に体感したことをすり合わせて、すぐに適応しなければいけないと思います。ただ、今回は第1戦と違ってホームで戦えるので、サポーターの皆さんの応援が力にもなりますし、いつもどおり自分たちのサッカーをしていきたいです」

——弓場選手はリーグ戦とカップ戦を合わせて4得点を記録しています。ポジションナールプレーはもともと得意だったので

ですか？「いや、それほど得意ではないです（苦笑）。Honda FCは少し近いスタイルでしたが、高校も大学もアグレッシブ

国際試合で得た糧

に大きなサッカーをするチームだったので、ポゼッションサッカーはあまりやってきていませんでした。どちらかといえば、僕は走ってなんぼみたいなタイプなので、今は猛勉強中です」

——おそらくリカルド監督からはポジショニングのことを相当要求されていると思います。プレーの幅が広がった実感は？「広がった実感はあります。今までウイングバックでプレーするときは外に張っているプレーばかりだったので、中に入ってくるプレーや、監督からはいろいろなことを求められるので、プレーの幅は広がりましたし、考えることも多くなりました」

——最後にサポーターにメッセージをお願いします。

「韓国にも多くのサポーターが来てくれたのですが、勝利を届けられず本当に申し訳なく思っています。自分たちも本当に悔しい思いをしたので、今回は勝利を分かち合えるように全力で戦います」

Focus

44MF Kenshin YUBA

弓場堅真

歴史が教える第2戦の重要性

文-鈴木潤 Jun SUZUKI

レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

アジアで勝つことの難しさを、改めて痛感させられる一戦だった。

AFCチャンピオンズリーグElite (ACL Elite) の初戦、全北現代モータースとのアウェイゲームでは、レイソルは前半に先制し、相手を押し込む時間も作りながら、その後2失点を喫して1-2で逆転負けを喫した。

「ACLは一発のある選手が揃っている大会。押し込んでいるときのリスク管理や、セーフティーにボールを切り出すなど、一個一個の判断をミスなくやらなければいけない」

試合後、古賀太陽はそう振り返った。自分たちのスタイルがまったく通用しなかったわけではない。ボールを保持し、相手陣内で攻撃を続ける時間もあった。しかし、一瞬の隙を突かれ、相手の個の能力によって試合

をひっくり返された。内容で優位に立つ時間があったとしても、それが必ずしも勝利に結びつくとは限らない。アジアの舞台で勝ち点を積み重ねていくためには、そうした厳しさを乗り越える必要がある。

レイソルがACLの初戦で敗れたのは今回が初めてではない。2012年、クラブ史上初めて出場したACLでは、アウェイでブリーラム・ユナイテッドと対戦した。2点を先行されながら、田中順也と酒井宏樹のゴールで追いついたものの、終盤に勝ち越しを許して2-3で敗戦。しかし、続く第2戦ではホームに全北現代を迎え、5-1の大勝を収めた。初戦の敗戦から立て直したレイソルは、その後も勝ち点を積み重ね、グループステージ突破を果たしている。

2018年は対照的な結果となった。この年も初戦はアウェイの全北現代戦。

ハモン・ロベスと江坂任のゴールで前半に2点を先行しながら、後半に3失点を喫して逆転負けを喫した。続くホームでの天津権健戦では、クリスティアーノのゴールで先制したが、試合終了間際に同点ゴールを許し、1-1の引き分け。2試合を終えて勝ち点1にとどまり、最終的にはグループステージ敗退という結果に終わった。

もちろん、2012年、2018年と現在では大会方式もレギュレーションも異なる。それでも、初戦黒星の反省を生かし、次の試合で勝点を積み上げられるかという重要性は変わらない。

2012年は第2戦の勝利を反撃のきっかけとし、2018年はホームで勝ち切れなかった。過去の歴史を振り返っても、初戦黒星のチームにとって次の一戦が持つ意味の大きさがわかる。



前節の全北現代戦では、攻撃面で手応えを得た一方、押し込んでいる時間帯のリスク管理や、試合の流れに応じた判断など、改善すべき課題も明らかになった。そこで得た教訓を、今回のポートFC戦にどう生かすか。

「悔しいですけど、良い教訓にしなければいけないゲームだったと思います」(古賀)

アジアの舞台で勝ち進むために、敗戦を無駄にすることはできない。過去の経験が教えてくれる第2戦の重要性。今回のホームゲームは、反撃の第一歩だ。

Reysol Report

KASHIWA REYSOL J1 2026/27 GAME SCHEDULE

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	8月8日(土)	19:00	三協F柏	水戸ホーリーホック	○2-1
2	8月14日(金)	19:00	MUG国立	東京ヴェルディ	○3-1
3	8月21日(金)	19:00	三協F柏	V・ファーレン長崎	○4-2
4	8月29日(土)	18:30	アイスタ	清水エスパルス	○1-0
5	9月2日(水)	19:00	ハナサカ	セレッソ大阪	●0-2
6	9月6日(日)	19:00	三協F柏	横浜F・マリノス	●0-2
7	9月11日(金)	19:00	サンガS	京都サンガF.C.	○3-2
8	9月20日(日)	17:00	Gスタ	FC町田ゼルビア	○4-2
9	10月13日(金)	19:00	三協F柏	ヴィッセル神戸	○4-2
10	10月17日(土)	19:00	三協F柏	名古屋グランパス	—
11	10月21日(水)	19:00	味スタ	FC東京	—
12	10月24日(土)	15:00	メルスタ	鹿島アントラーズ	—
13	10月31日(土)	16:00	三協F柏	浦和レッズ	—
14	11月7日(土)	16:00	三協F柏	川崎フロンターレ	—
15	11月20日(金)	19:00	三協F柏	ジェフユナイテッド千葉	—
17	11月28日(土)	16:00	三協F柏	サンフレッチェ広島	—
18	12月6日(日)	16:00	三協F柏	アビスパ福岡	—
19	12月13日(日)	14:00	JFECS	ファジアーノ岡山	—
16	12月16日(水)	19:00	パナスタ	ガンバ大阪	—

※2027年開催分の詳細は、12月上旬に発表予定です。※今後、変更になる可能性があります。追加情報につきましては随時発表いたします。※開催日が未定となっている試合について、土日開催の節は全曜日開催する可能性があります。

※1:2/24(水)に開催する可能性あり ※2:2/3(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり ※3:柏またはG大阪がACL Elite準々決勝進出の場合は4/1(水)もしくは4/7(水)に開催する可能性あり ※4:柏がACL Elite準々決勝進出の場合は5/19(水)に開催する可能性あり ※5:柏または神戸がACL Elite準々決勝進出の場合は5/5(水-祝)もしくは5/26(水)に開催する可能性あり ※6:ルヴァンカップ決勝進出クラブの試合は4/21(水)、5/12(水)、5/19(水)、6/2(水)のいずれかに開催する可能性あり

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
20	12月19日(土)	16:00	U等々力	川崎フロンターレ	—
21	2月13日(土)or14日(日)	未定	三協F柏	清水エスパルス	—
22	2月20日(土)or21日(日)	未定	水戸信ス	水戸ホーリーホック	—
23	2月27日(土)or28日(日)	未定	ピースタ	V・ファーレン長崎	—
24	3月6日(土)or7日(日)	未定	ベスタ	アビスパ福岡	—
25	3月10日(水)*1	未定	三協F柏	京都サンガF.C.	—
26	3月13日(土)or14日(日)*2	未定	三協F柏	ファジアーノ岡山	—
27	3月20日(土)or21日(日)	未定	三協F柏	東京ヴェルディ	—
28	4月3日(土)or4日(日)	未定	三協F柏	セレッソ大阪	—
29	4月10日(土)or11日(日)	未定	埼玉	浦和レッズ	—
30	4月17日(土)	未定	日産ス	横浜F・マリノス	—
31	4月24日(土)or25日(日)*3	未定	三協F柏	ガンバ大阪	—
32	4月29日(水-祝)*4	未定	三協F柏	FC東京	—
33	5月3日(日)or4日(祝)*5	未定	ノエスタ	ヴィッセル神戸	—
34	5月9日(日)*6	未定	三協F柏	FC町田ゼルビア	—
35	5月15日(土)or16日(日)	未定	未定	名古屋グランパス	—
36	5月22日(土)or23日(日)	未定	Eピース	サンフレッチェ広島	—
37	5月29日(土)or30日(日)	未定	三協F柏	鹿島アントラーズ	—
38	6月6日(日)	未定	フクリ	ジェフユナイテッド千葉	—

AFC Champions LEAGUE ELITE 2026/27 順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得失点差
1	鹿島	3	1	1	0	0	6
2	G大阪	3	1	1	0	0	3
3	上海海港 (CHN)	3	1	1	0	0	2
4	北京FC (CHN)	3	1	1	0	0	2
5	神戸	3	1	1	0	0	1
6	全北 (KOR)	3	1	1	0	0	1
7	大田 (KOR)	3	1	1	0	0	1
8	ブリーラム (THA)	1	1	0	1	0	0
9	ジョホール (MYS)	1	1	0	1	0	0
10	柏	0	1	0	0	1	-1
11	ポート (THA)	0	1	0	0	1	-1
12	京都	0	1	0	0	1	-1
13	ラーチャブリー (THA)	0	1	0	0	1	-2
14	浦項 (KOR)	0	1	0	0	1	-2
15	コンアン・ハノイ (VNM)	0	1	0	0	1	-3
16	ニューカッスル・ジェッツ (AUS)	0	1	0	0	1	-6

2026年9月16日現在

AFC
Champions LEAGUE
ELITE 2026/27
リーグステージ MD2
グループEAST

節	日付	時刻	会場	対戦	結果
1	9月16日(水)	19:00	全州	全北現代モータース (KOR)	●1-2
2	10月14日(水)	19:00	柏	ポートFC (THA)	—
3	10月27日(火)	19:15(現地)	ラーチャブリー	ラーチャブリーFC (THA)	—
4	11月3日(火-祝)	19:00	柏	大田ハナ・シズン (KOR)	—
5	11月24日(火)	18:45(現地)	セントラルコースト	ニューカッスル・ジェッツ (AUS)	—
6	12月1日(火)	19:00	柏	コンアン・ハノイ (VNM)	—
7	2月10日(水)	19:00	柏	ブリーラム・ユナイテッド (THA)	—
8	2月16日(火)	19:00	浦項	浦項スティーラース (KOR)	—